

実証実験の実施結果

1 寄付金の收受結果と実施運営に要した経費

1 寄付金の集計内訳

收受額

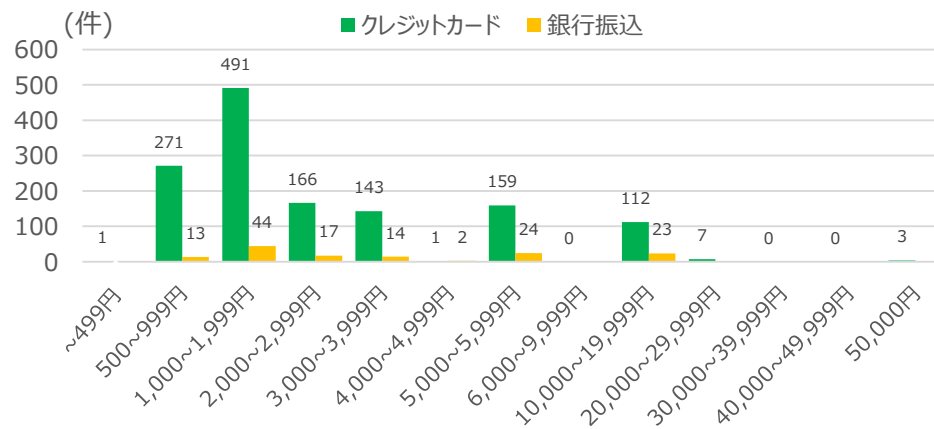
・寄付金の合計收受額は**552万6,023円**となった。

	総額 (円)	件数 (件)	平均額 (円)
合計	5,526,023	—	—
クレジットカード	3,750,502	1,354	2,770
※手数料を引いた額	3,544,288	1,354	2,618
山小屋	699,818	21軒 (小屋数)	—
銀行振込	1,075,703	150	7,171

※ 集計は、実証実験期間 (21/9/18~21/10/18) 外の受付分も含めたため、速報値と一部異なる。
 ※ 回収した現金を北アルプス登山道等維持連絡協議会の寄付金口座に入金時には手数料が発生するため、手数料差引額が最終的な收受金額となる。

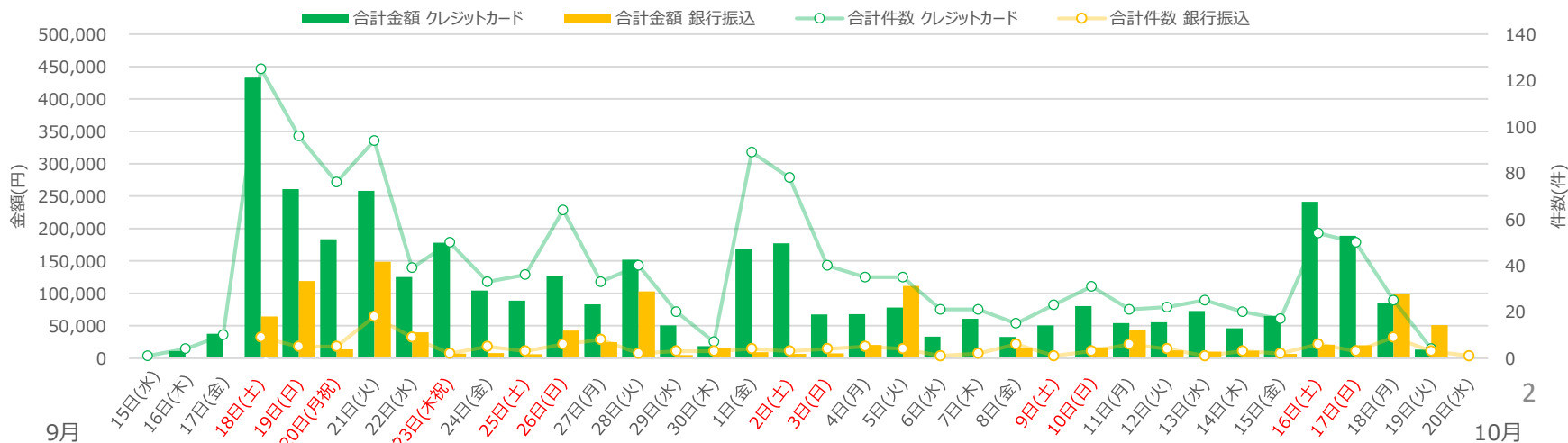
金額帯別の件数

・クレジットカード、銀行振込ともに**1,000円台/件**が最も多かった。



日別の合計金額・合計件数

・クレジットカードは、期間前半、10月頭、終盤に件数が増えた。



1 寄付金の収受結果と実施運営に要した経費

2 実施運営に要した経費

広報媒体(設置用)

- ◆ **約57.6万円**※制作費(印刷費) 等
- ◆ 環境省事業内で支出



看板



ポスター・ラミネ・
チラシ



カード

広報媒体(カード配布)

- ◆ **約154万円**※調査員費、印刷費 等
- ◆ 環境省事業内で支出

【調査地点】

横尾登山口、上高地バスターミナル、中房登山口

【調査日】

第1回	9/18 (土) ,19 (日) ,20 (月祝)
第2回	9/23 (木祝) ,24 (金) ,25 (土) ,26 (日)
第3回	10/2 (土) ,3 (日)
第4回	10/9 (土) ,10 (日)



横尾登山口

協議会ウェブサイト(新規開設)

- ◆ **約57万円**※デザイン費・構築費 等
- ◆ 北アルプス登山道等維持連絡協議会予算から支出



クレジットカード決済システム

- ◆ Syncableを利用※年会費および利用料無料
- ◆ 決済代行手数料が発生
- ◆ 北アルプス登山道等維持連絡協議会予算から支出／利用者自身が負担

その他

- ◆ 運営に係る人件費 等

【広報媒体】
デザイン、設置撤去、保守管理 等

【実験の運営】
設計、保守管理、集計分析 等

【検討会】
開催に係る事務 等

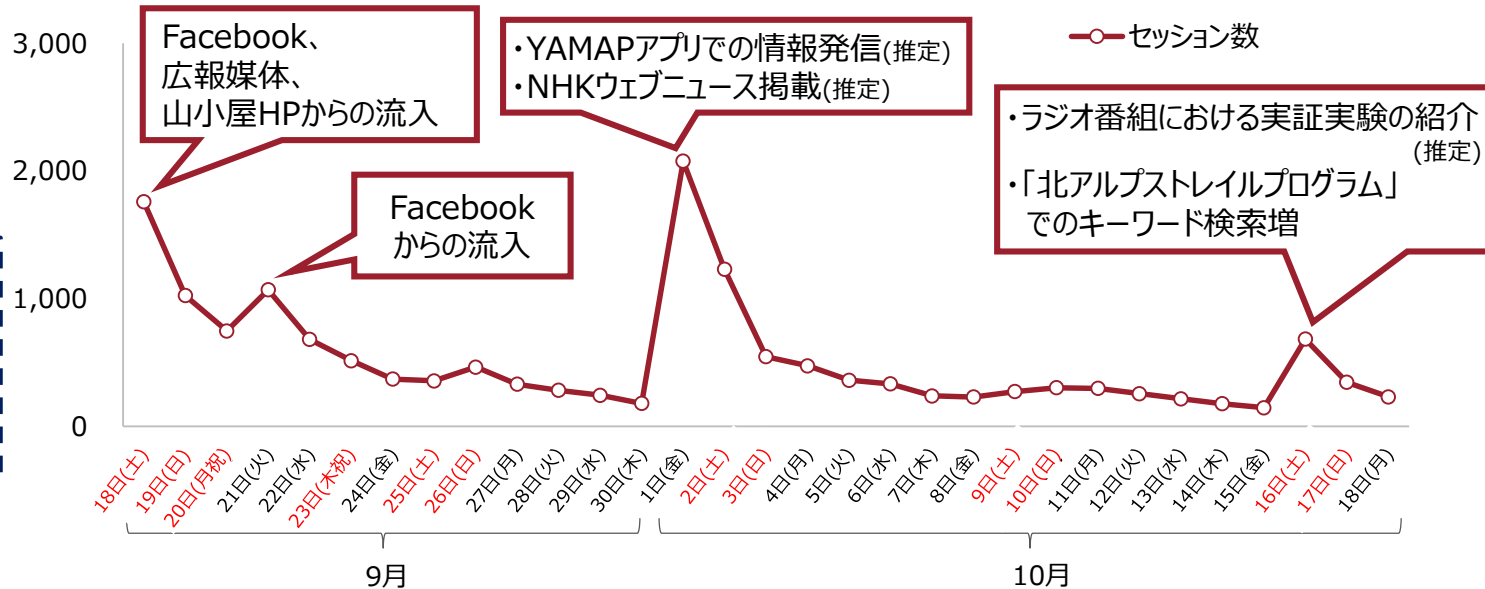
2 情報提供・周知広報の有効性の検証

1 協議会ウェブサイトの閲覧数と流入経路

閲覧数

- 実験開始日、10月頭、終盤に閲覧数が伸び、これらはメディア等での周知による効果であることが示唆された。

- ◆ ユーザー数(閲覧者数)
1万4,737人
- ◆ セッション数
(閲覧された回数)
1万6,420回



流入経路

- Direct (看板等の広報媒体、アプリ等)からの流入が5割を占め、広報媒体の中では「カード」が7.5割を占めた。

参照元の分類

Direct
広報媒体

看板
ポスター・ラミネ・チラシ
カード

アプリ
スマホアプリ内コンテンツからのリンク等
例: YAMAP公式アプリ

その他
・外部サイトに記載されたURLを手入力したアクセス
・外部組織が作成したQRコードからのアクセス
例: NHKウェブニュース

Social

Facebook Instagram Twitter 等

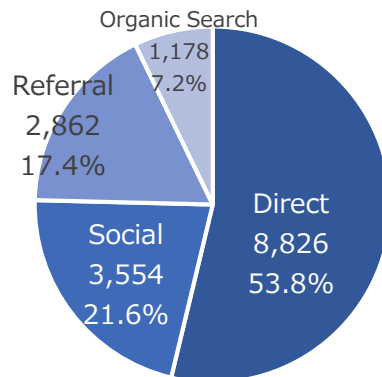
Referral

外部サイトに掲載されたリンククリックによるアクセス等、外部サイトからの流入

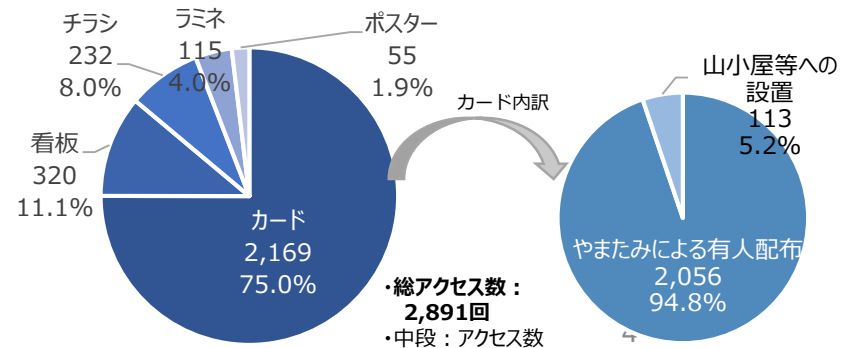
Organic Search

検索エンジン (Google, Yahoo!等) における検索結果からのアクセス

参照元の構成比



広報媒体別のアクセス数

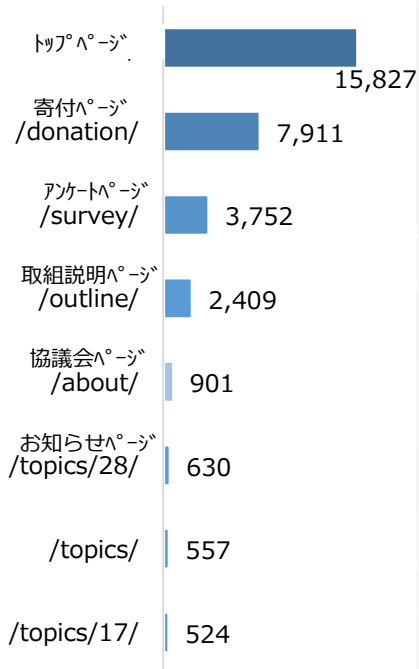


※中段：セッション数

2 情報提供・周知広報の有効性の検証

2 協議会ウェブサイトの閲覧動向

各ページの閲覧数



サイト内での回遊性



- トップページに次いで、**寄付ページ**、**アンケートページ**の閲覧が多かった。
- 取組説明ページ、協議会ページの閲覧が伸び悩んだ。

3 利用者アンケート調査の分析結果

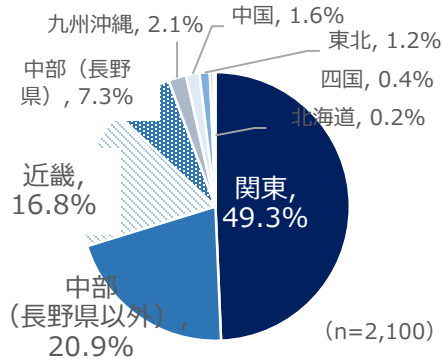
1 回収数・回答者プロフィール

◆有効回答数：2,100

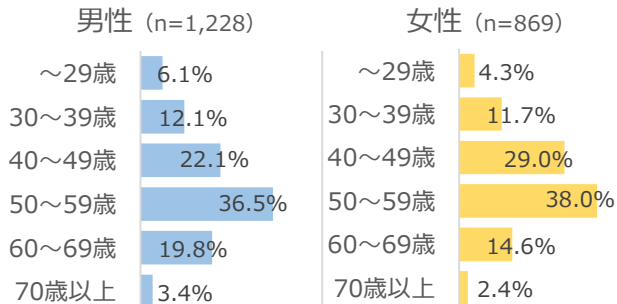
回答者プロフィール

・幅広い層からの回答が得られた。

居住地

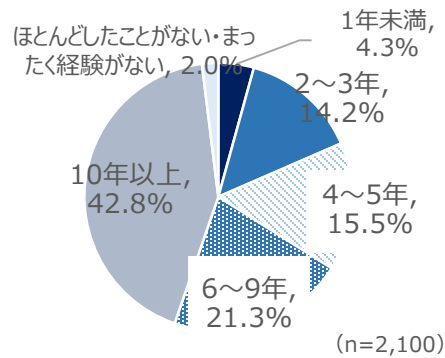


性年代

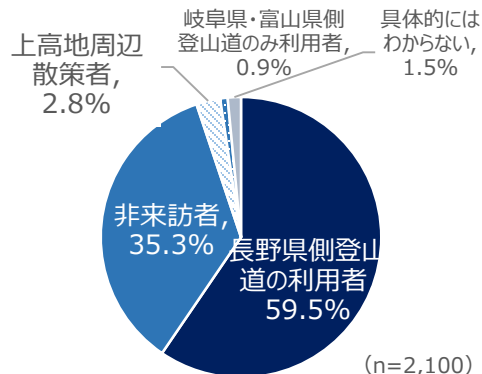


※「その他」選択者3s

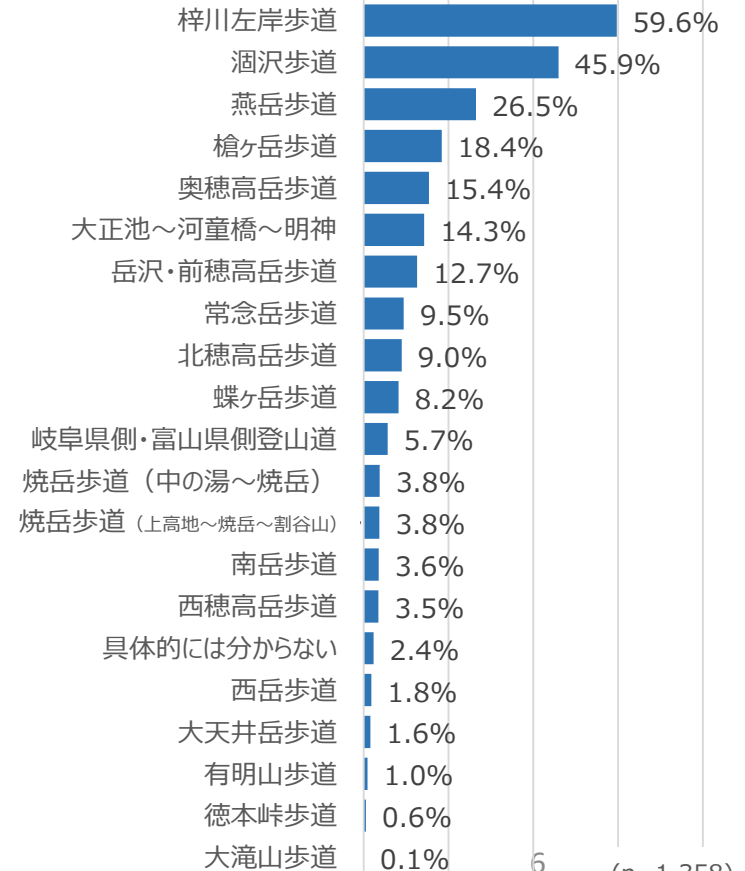
登山歴



登山道の利用タイプ



利用した登山道

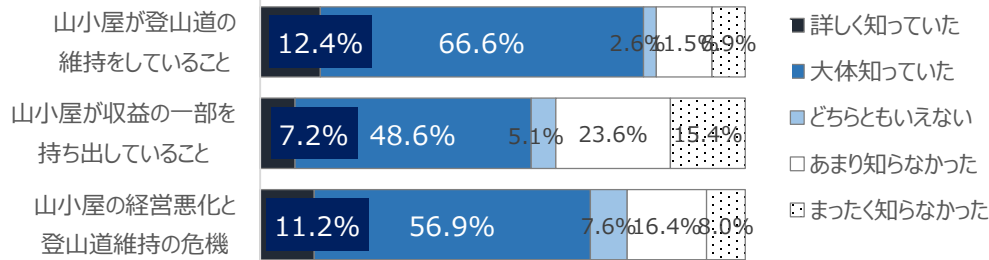


3 利用者アンケート調査の分析結果

2 現状の問題に対する認知

現状の問題に対する認知度

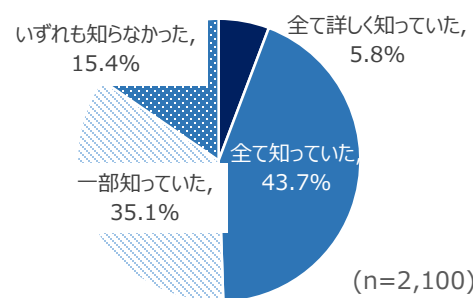
- いずれの項目も過半数が「知っていた」と回答し、登山歴、槍穂高・常念山脈の登山経験が多いほど認知度が高まった。



登山歴

登山歴	Q山小屋が作業をしていること	Q山小屋が資金を持ち出していること	Q山小屋の経営悪化と登山道維持の危機
ほとんど経験がない(n=41)	36.6%	26.8%	29.3%
1年未満(n=90)	57.8%	32.2%	41.1%
2~3年(n=298)	61.7%	39.3%	52.3%
4~5年(n=325)	79.4%	57.8%	68.6%
6~9年(n=448)	82.8%	56.0%	72.8%
10年以上(n=898)	86.9%	64.3%	75.3%

現状に対する認知度グループ



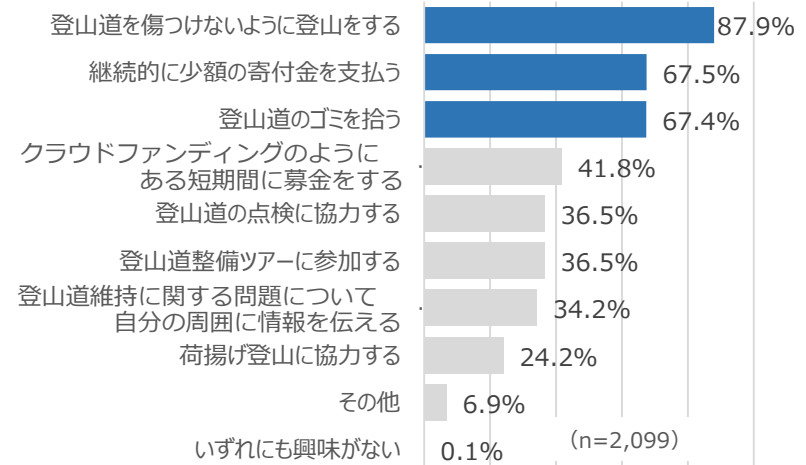
槍穂高・常念山脈の登山経験別

登山経験	Q山小屋が作業をしていること	Q山小屋が資金を持ち出していること	Q山小屋の経営悪化と登山道維持の危機
行ったことがない(n=263)	49.8%	31.9%	41.4%
1回(n=229)	66.4%	43.7%	58.5%
2回(n=220)	71.4%	43.6%	61.8%
3~5回(n=591)	82.2%	56.0%	71.1%
6~9回(n=348)	89.1%	62.4%	77.6%
10回以上(n=449)	94.4%	76.8%	80.4%

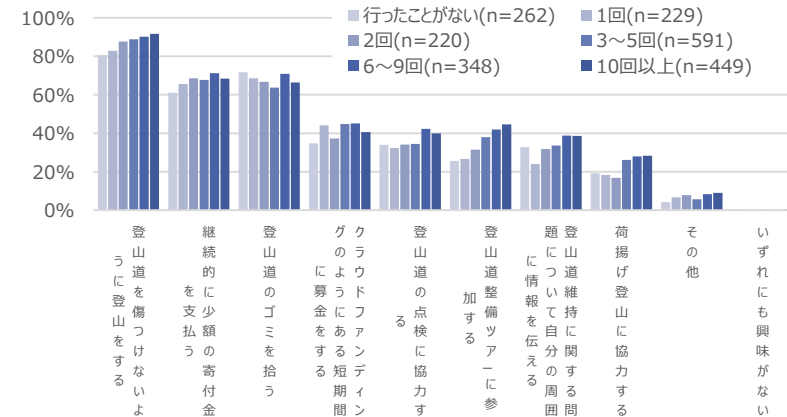
全て詳しく知っていた	全ての設問に対して、「詳しく知っていた」と回答した人
全て知っていた	全ての設問に対して、「詳しく知っていた」または「大体知っていた」と回答した人
一部知っていた	1つまたは2つの設問に対して、「詳しく知っていた」または「大体知っていた」と回答した人
いずれも知らなかった	全ての設問に対して、「あまり知らなかった」または「まったく知らなかった」または「どちらともいえない」と回答した人

協力してもよい行動

- 「寄付金の支払い」は2位（67.5%）となった。



槍穂高・常念山脈の登山経験別

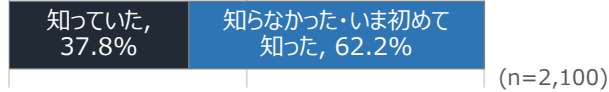


3 利用者アンケート調査の分析結果

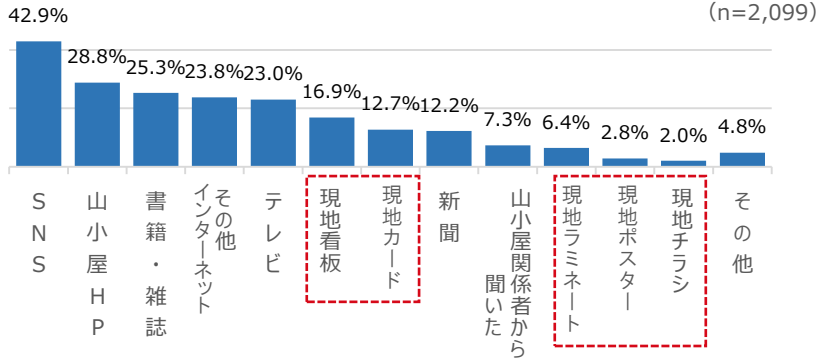
3 「北アルプストレイルプログラム(仮)」について

取組(実証実験)の認知度と認知のきっかけ

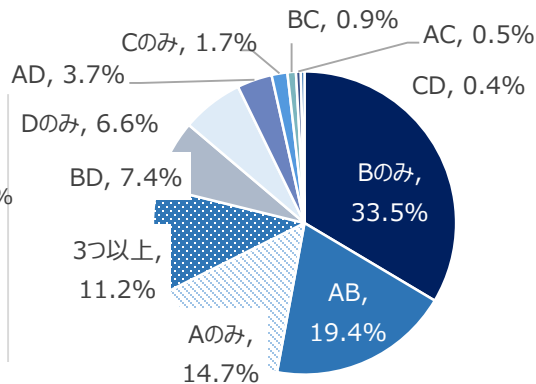
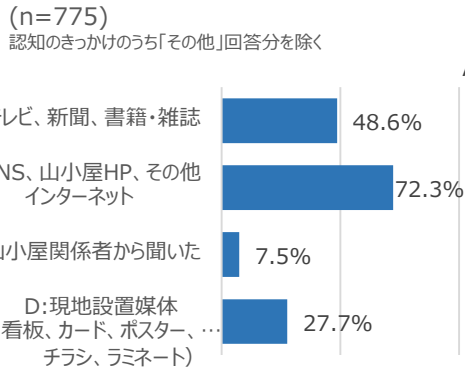
- 今回の取組の認知度は約4割。きっかけとなった媒体は、SNSやテレビ等のメディアが多かった。



認知のきっかけ

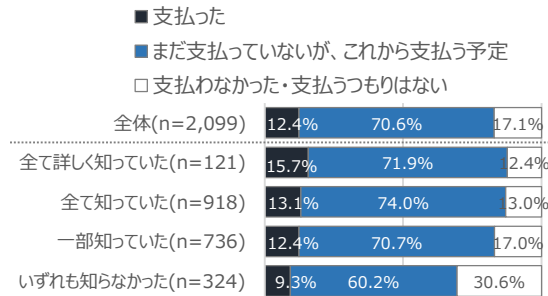


認知のきっかけ(種類別)



支払いの有無

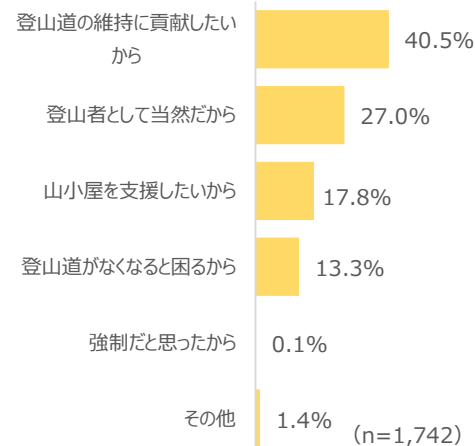
- 現状に対する認知度が高いほど支払いに協力する割合が高い傾向が見られた。



支払い理由

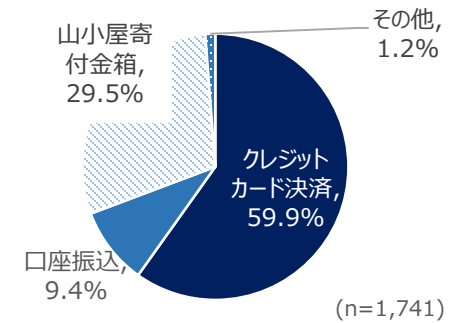
(「支払った」、「これから支払う予定」と答えた人のみ)

- 「登山道維持に貢献したい」が4割を占めた。



支払い方法

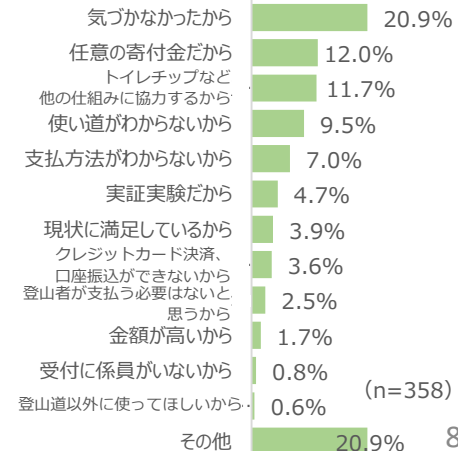
- クレジットカード決済が6割を占めた。



支払わない理由

(「支払わなかった・支払うつもりはない」と答えた人のみ)

- 「気付かなかった」が2割を占めた。

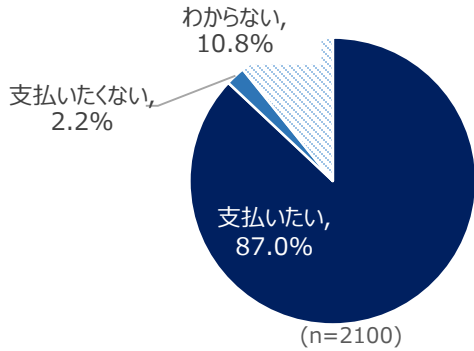


3 利用者アンケート調査の分析結果

4 今後、北アルプス南部地域で登山をする場合について

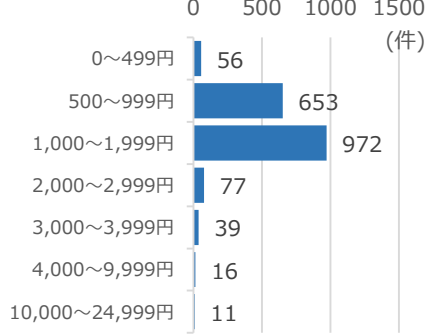
支払い意思

- 現状への認知度が高いほど支払いに協力的。



支払ってもよい金額

- 支払ってもよい金額は**1,000円台**が最多。(実際の支払額と一致)

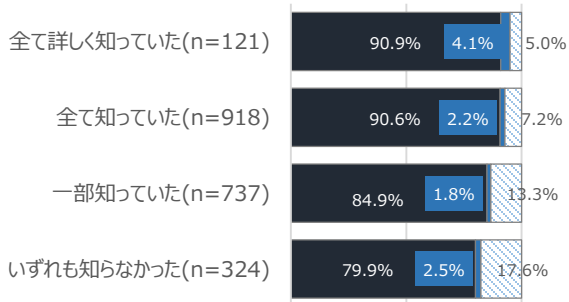


支払いやすいタイミング・支払いやすい方法

- 「寄付金箱に現金で」、「登山前」が最多。

	全体 (n=1,827)	登山前 (n=892)	登山中 (n=234)	下山後 (n=160)	いつでも (n=521)	その他 (n=20)
寄付金箱に現金で	58.0%	55.8%	76.9%	46.9%	57.8%	25.0%
スマートフォン(決済アプリ等)	51.0%	52.8%	34.6%	51.9%	55.7%	30.0%
電子マネー(交通系ICカード等)	41.9%	40.8%	30.8%	42.5%	48.9%	30.0%
クレジットカード	39.6%	33.4%	25.2%	45.0%	54.7%	50.0%
係員に現金で	37.1%	46.1%	31.6%	28.8%	27.1%	25.0%
口座振込	5.5%	3.5%	2.6%	6.9%	9.4%	15.0%
デビットカード	2.6%	1.8%	1.7%	1.9%	4.6%	0.0%
その他	2.3%	2.5%	1.3%	1.3%	1.9%	25.0%

現状への認知度グループ別



意見・感想 (自由記述: 1,120件)

- 賛成・応援の声が多く寄せられた。負担金の種類では、入山料、協力金制度、強制徴収化を望む声が多かった。

背景と目的	件数
賛成・応援の声	約431件
疑問の声	約4件
寄付以外の協力について	約63件
行政への要望・公的資金について	約70件
山小屋への応援	約14件
山小屋運営について	約39件
登山道等の整備水準について	約15件
使途事業	
肯定的(登山道維持への充当)	約44件
その他の使途への要望	約25件

負担金の種類	件数
強制・入山料・協力金を望む声	約287件
既存料金への上乗せを望む声	約27件
クラウドファンディングを望む声	約12件
ふるさと納税を望む声	約10件
寄付金に賛成する意見	約45件
寄付金への要望・改善点	約10件
グッズ販売などを望む声	約7件
会員制を望む声	約4件
その他	約11件
名称	
北アルプストレイルプログラムが分かりにくい	約3件

実施体制	件数
肯定的意見	約1件
透明性・管理体制への要望・懸念	約14件
対象	
対象地域(エリア拡大への要望等)	約32件
対象期間(期間延長への要望等)	約10件
対象者(登山者全員負担への要望等)	約38件
金額設定	
肯定的(一口500円)	約18件
その他の金額設定への意見	約64件

収受方法	件数
収受の場所(登山口、山小屋など)	約78件
支払い方法	約77件
情報発信	
取組の周知(拡大を望む声)	約97件
取組の結果報告	約30件
登山文化・登山のあり方・マナー	約50件
その他	
記念品・特典	約38件
アンケート	約12件
その他	約18件